

2015.11月

# 品質月報

*Monthly Quality Report*

# 11月号 INDEX

## 11月号 INDEX

*PAGE 3* ……品質方針

*PAGE 4* ……今月のトピックス

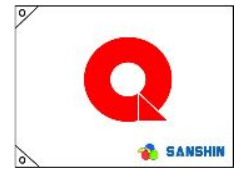
★ 今月のテーマは…  
旭化成建材、マンション傾斜

*PAGE 5* ……品質状況

市場不良率推移 クレーム発生状況



SANSHIN GROUP



## 品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動をおこない、社会へ貢献してまいります。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめてまいります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守をとおして品質の向上につとめてまいります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネージメントレビューをおこない、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかってまいります。

平成26年10月1日  
サンシングループ  
代表

石井 宏宗



# 今月のトピックス

## 旭化成建材、マンション傾斜



横浜市で大型マンションが傾き、基礎の杭(くい)打ち工事で虚偽データが使われていたことが分かった。工事を担当した旭化成建材は、謝罪するとともに、過去に手掛けた杭打ち工事を調査する方針を示した。総数は45都道府県の3040件に及ぶ。

### ■住民が手すりのずれを発見

(問題が発覚したのは)三井不動産グループが2006年に販売を始めた横浜市都筑区の大型マンション。JR駅近くの大型商業施設に隣接して建設された最高12階建ての4棟700世帯超の大型物件。建物の傾きが確認されたのはこのうちの1棟。建物の全長56メートルに対し、両端で最大2.4センチの差が生じている。14年11月、住民らが廊下の手すり部分の高さに差があるのに気付いたという。住民側の指摘を受け、三井不動産レジデンシャルと三井住友建設が調査を開始。傾いたマンションの計52本の杭のうち28本の調査を終えた時点で6本の杭が地盤の強固な「支持層」に到達しておらず、2本も打ち込まれた長さが不十分であることが判明した。

### ■旭化成建材がデータ改ざん

三井不動産グループが販売した横浜市都筑区の大型マンションが傾いている問題で、旭化成は14日子会社の旭化成建材が請け負った杭の工事でデータの転用や加筆などの改ざんがあったと明らかにした。旭化成は同日、調査委員会を発足させた。原因究明と再発防止にあたるとしている。

旭化成によると、傾いた建物の補強や改修、ほかの棟の調査にかかる費用は旭化成建材が全額を負担する。旭化成は「信頼を損なう結果となったことを深く反省し、心よりおわびする。居住者の安全を最優先に売り手の三井不動産レジデンシャル、施工会社の三井住友建設と協力して、しかるべき対応をとる」としている。

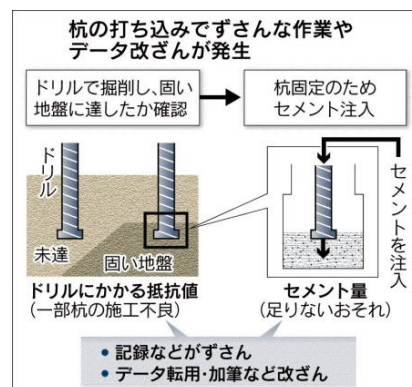
### ■45都道府県の3040件、改ざん有無の報告期限は11月13日

『旭化成建材が手掛けたすべての杭打ち工事3040件は45都道府県にまたがり北海道が最多の422件。次いで東京都356件、大阪府262件だった。』

### 「信用」

先月号に引き続き、築き上げてきた信用が一気に失墜した事例である。消費者を騙し続けてきた損害は、金額でなく「信用の失墜」の方がはるかに大きい。原因追及プロセスの中で、ある個人(チーム)にフォーカスしクローズアップしているがこのことが、すでに会社として全く機能していないことを証明してしまっているのではと思われる。

2005年	11月30日	マンション着工
06年6月		分譲開始
07年12月		マンション竣工
14年11月		住民が手すり部のずれを発見(マンションの傾斜発覚)
15年	8月20日	横浜市が現場を確認
9月15日		三井住友建設から杭が支持基盤に届いていなかったと市に報告
10月6日		2次下請けの旭化成建材などから国土交通省と市が聞き取り
14日		新聞報道でマンション傾斜・データ改ざんが表面化 旭化成建材の地盤データ改ざん発覚。調査、改修費用の全額負担を表明
15日		親会社の旭化成が旭化成建材の杭打ちした約3000棟の調査を表明 販売した三井不動産レジデンシャルが全棟の建て替えと購入価格以上の買い取りを住民に提案

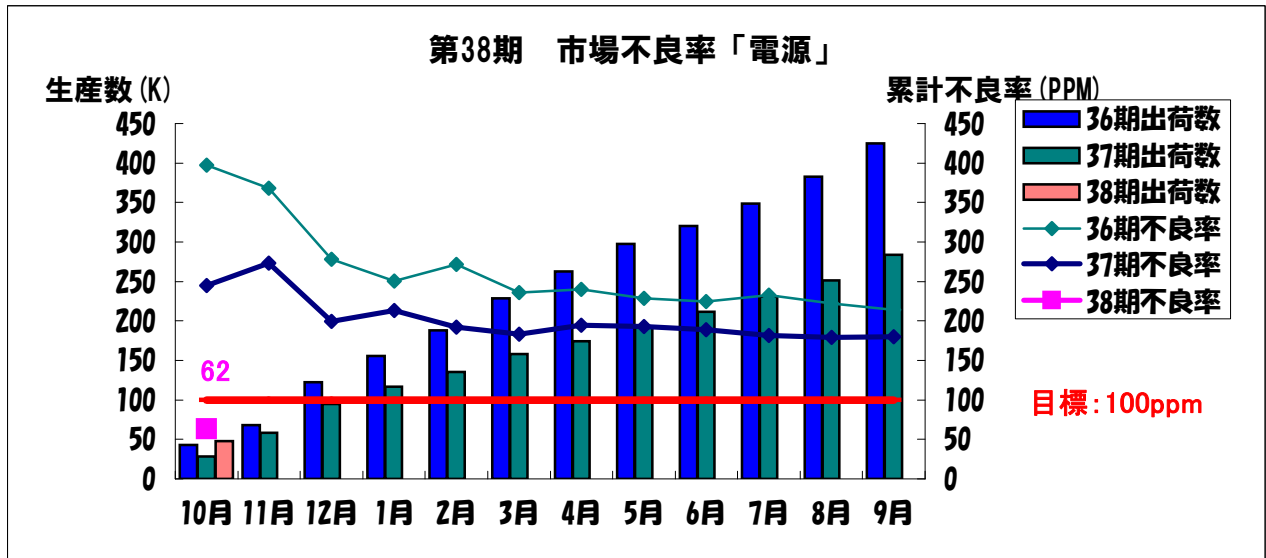


# 今月の品質状況

## 38期の旗印

納入不良率 目標.....100ppm

38期の累計不良率は62ppmです。  
 市場不良累計 : 3件 客先クレーム : 0件



## クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に  
 当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合

